

首都圏情報コーナー

第55回東京相川会大会開催

5月18日、浅草三社祭の囃子が聞こえてくる墨田リバーサイドホールで、東京相川会第55回大会が総勢300名の参加者のもとに開催されました。島田会長挨拶のあと、来賓として参加された近藤基彦衆議院議員秘書岡田哲郎氏祝辞、親松東一佐渡市副市長、東京新潟県人会春日實副会長の挨拶。2部に入り、首都圏佐渡連合会摩尼義晴会長の挨拶と三浦洋一佐渡市相川支所長の乾杯の音頭で懇親会に入りました。ホールは満席、和やかな歓談が始まるのと並行して佐渡鬼太鼓、山登靖氏による歌謡ライブ、昨年東久邇宮文化褒賞を受賞した菊地幹夫氏率いる21世紀おけさアートの会、若波会による佐渡おけさ、相川音頭など盛りだくさんのアトラクションに会場全体が満面の笑み。この大会は佐渡を離れて暮らす人たちの一年に一度の東京での相川祭りです。そこには佐渡弁が飛び、あの海でのあわびやサザエ獲り、学校から帰るとテングサ獲りに潜った海、神輿担ぎが朝方にまで及んだ祭りでの話題等々…



今日も海猫が鳴き、田んぼも畑も緑を育てている佐渡の地は、この墨田にも続いています。

懇親会は3時間にも及び、相川商工会川島清会長の万歳三唱をもって午後3時閉幕しました。会場の外は5月の風が心地よい感触を残して通り過ぎていきました。(JH記)

ご存知ですか？ 検察審査会

「交通事故、詐欺、おどしなどの犯罪の被害にあったが、検察官がその事件を裁判にかけてくれなかった。どうも納得できない」

納得できない!



このような不満をお持ちの方のために、検察審査会という国の制度があります。不満をお持ちの方は、お気軽にご相談ください。費用は一切かかりませんし、秘密は堅く守られます。検察審査会では、選挙権を有する一般市民の中からくじで選ばれた11人の検察審査員が、検察官が裁判にかけなかったことが正しいかどうかを審査します。

お問い合わせ

佐渡検察審査会事務局 ☎52-3151
(新潟地方裁判所佐渡支部内)

会社やお店の宣伝に！

市報さど・市ホームページ 有料広告募集中

お申し込み・お問い合わせ

市役所 総務課秘書室

広報広聴係 ☎63-5134

随想

ゆめ夢飛行

佐渡市長 高野宏一郎

No. 24

佐渡の空からトキの飛翔が消えて、既に27年がたちました。キンちゃんも捕らえられて40年、行谷小学校へ見に行こうと誘われたのに都合で行けなかったことや、一斉捕獲のニュースや保護センターでの数を減らしていくトキに言い知れない不安を感じたあの頃のこと。中国での発見の報道に安堵したことや、中国から息抜き穴だけの粗末なベニヤの鳥かごに入った2羽のトキを佐渡空港に迎えたことなど、駆け巡る思いの中、県庁記者クラブで知事と記者会見の場に臨みました。その席で放鳥は9月25日の午前中と発表されました。

もう少し早い時期にと願っていましたが、秋のぎりぎりのタイミングとなりました。しかしこれで佐渡の「美しく、環境にやさしい島づくり」の理念は、今回の放鳥で画竜点睛を得た思いです。

長年落ち込んでいた観光も放鳥を契機に向上きにとの期待の中で、単に成果を目先の経済的価値だけに求めることは問題です。一度は途切れた佐渡の生物多様性生態系の中にトキを組み込むことで、自然環境が取り戻しているのかの判断指標として意味は重く、さらに人も住みやすい島づくりこそが、最終目標なのです。

昭和56年、一斉捕獲により島民の前から忽然と消え失せたトキ、そのトキが今度こそわれわれの手に戻ってくる。それを皆で素直に喜びたいと思います。